

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	S.I.C.KIDSあま校			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ~ 令和7年 11月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	36名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ~ 令和7年 11月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとりの利用者の困りごとに向き合い、解決に向けて個別に対応できる。 その日の利用者の状態に合わせた支援を行うことができる。	計画に基づいた支援を基本として行いつつも、その時々の状況に合わせて臨機応変に対応するようにしている。	様々な状況に合わせた支援ができるよう、研修等を通してスタッフの対応力の強化を図り、保護者の方にアドバイスできるようにしていく。
2	原始反射の統合に向けたプログラムが多数用意されており、利用者の方に合わせたトレーニングが提供できる。	利用者1人ひとりの原始反射の残存がどのくらいあるか状態を把握し、その変化や発達の様子をスタッフ全員で共有している。	スタッフから提案するプログラムよりも、利用者本人の求めている動きを優先させることで、トレーニングの効果が最大になるようにしている。
3	専用アプリやLINEによる発信から現在の空き状況がすぐにわかり、都合に合わせて予約を取ってもらうことができる。	専用のアプリにてリアルタイムの空き状況を確認してもらえるよう、変更があった際には即時データを更新するようにしている。	専用アプリの改善を図り、より使いやすいものに改良していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団で行動することができなく、他児に合わせることや一斉指示で動くことの練習ができない。	1対1のマンツーマン指導にて個別支援を行っているため。	マンツーマン指導の良さをメリットとしているが、利用者が一緒に遊びたいと希望した場合や、その利用者が必要な学びとしている場合には、トレーニング時間の一部を使って複数人での活動も行うようしている。 また、声掛けの方法や集団で何をしたら良い効果に結びつかのか、打ち合わせや話し合いによりスタッフの知識を高めていく。
2	事業所の玄関前に大きな段差があり、バリアフリーでない。	建物の構造上の問題があり、高い段差がそのままになってしまっている。	スロープの設置等、安全性を高めるための工夫を検討していく。
3	毎回の支援後、対面での報告時に、長く時間を取ることができない。	建物の構造上、保護者の待機場所（廊下・玄関）が狭く、落ち着いて話をすることが難しい。 1時間ごとの入替方式にて個別支援を行っているため、支援後に長い時間を取ることができない。	対面での報告の他に、専用アプリでできるだけ詳しく支援の様子を伝えるようにしている。 内装工事等により、玄関をより広くできないか検討していく。 子育てサポート加算を活用し、支援中の様子をより詳細に伝えられる機会づくりをしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		S.I.C.KIDSあま校							
		公表日 令和7年 12月 1日							
					利用児童数		37名	回収数	36名
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		31	1	0	4	・活動を見たことがない為わからない ・物を共有することが難しい子たちが自由に過ごすには少しリスクがあると思う	1対1の支援なので、コーチの判断で空いたスペースをその都度有効に使いながら支援を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		34	0	2	0	・参加できる日数が少ないので、もっと職員を配置してほしい	増員が決定しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		27	4	0	5	・入口の段差がバリアフリーではない	バリアフリーではない部分について、スロープ等の設置を検討しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		31	3	0	2	・複数人での利用時には狭いのではと思っています	複数人の場合、スペースを有効に使えるよう工夫し、安全にトレーニングできるようにしていきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		34	0	0	2	・預けた後は見ていないのでわからない ・支援を受けている場を見る機会がない。いつでも気軽に見られたらしいなと思う	個々の特性に合わせた支援を行い、支援の様子は、ご希望によりモニターで見ていただけるようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		31	0	0	5		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		31	2	0	3	・実行を目で見て確認できない	支援の様子を、ご希望によりモニターで見ていただけるようにしていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		35	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		33	0	0	3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		32	1	0	3		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。		11	3	8	14	・全くない	地域の夏祭りの案内を配布するなど、交流の機会を作っています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		35	0	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		36	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		30	2	2	2	・チラシを受け取ることはあるが、それ以外にはない	ペアレントトレーニングについて、学ぶことのできる機会づくりを検討していきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。		33	0	2	1		毎回の支援後にお話をする機会を取っていますが、より丁寧な説明を行うようにしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		29	3	2	2	・家の生活のアドバイスを受けたことはない	毎回の支援後、支援内容に加えて家でもできるトレーニングをお伝えしていくようになります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		34	0	2	0		ご家族の方のお話を真摯に受け止め、気持ちによりそった支援を心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		18	2	3	13	・全くない	不定期的に保護者会を実施していますが、より開催頻度を高めるとともに、周知に努め、家族支援につながるようにしていきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	2	0	4	・相談の機会があるのかわからない	契約時に相談体制についてお伝えするようになっていますが、定期的な発信などを通してより周知に努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	2	0	0	・アプリ以外からの情報が少ない	毎支援後の説明以外にも、保護者様の要望に合わせて、詳しく説明する機会を設けるようにしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	2	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	0	0	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2	1	20		年間計画を立て、それに基づいて訓練を行い、その様子をSNSでお知らせするようになっています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1	0	6		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35	1	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	2	0	0	・いつも楽しく通っていて、通所日だとわかるととても喜んでいます	これからも、1人1人に合わせた支援を行い、楽しみながら通所していただけるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	2	0	0	・その日にやった内容が分かりやすく、家でも取り入れたりてきて、とてもいいと思います ・慣れてからは楽しく通所てきており、自転車に取り組むなど運動もレベルアップしているような気がしています ・成長につながっているかまだ不明 ・駐車場が狭くて困っています	今後も、事業所に対しての要望をいつも受け付け、面談時には必ずやってほしい事をお聞きすることで、満足いく支援に繋がるようにしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		S.I.C.KIDSあま校				公表日	令和7年 12月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		同時間に利用者が複数いる場合には、職員が声を掛け合って連携し、安全な支援に努めています。また、集中力を妨げないよう、立ち位置等を工夫するようにしています。	利用者が多数いることにより、衝突による事故や、使いたい教具の取り合いなどの発生が予期されるため、職員同士での連携をより綿密に取っていこうようにします。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	基準の職員数に加え、加配の職員を配置しています。	利用者の増加に伴い、より安全で質の高い支援ができるよう、令和8年1月より職員の増員を予定しています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	タイムタイマー等の視覚的支援を活用しています。	入口の段差が大きく、特に幼い利用者では危険を感じることがあります。また、玄関が狭く、靴を脱ぐ場所がわかりにくい状態のため、改善を検討していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		利用者が入れ替わるタイミングで環境整備や消毒を行っています。また、定期的な清掃を行い、清潔な状態を保つようにしています。	壁紙の一部など、破損が見られる場所について、修繕を依頼していきます。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		利用者の様子や意向に合わせ、別室にて支援を行うこともできるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		毎月行っているミーティングにて、業務改善に関する施策の提案や、効果の振り返りを行い、PDCAサイクルを回しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様から受け取った意見をもとに、支援後のフィードバック内容などの改善に努めています。また、評価表以外にもアンケートを行い、意見をいただけるようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎月行っているミーティングにて意見を出し合い、業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期的に社内での研修会を行い、利用者の安全、支援の質の向上をめざしています。また、地域で開催されている研修会にも積極的に参加し、その内容を職員内で共有しています。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムはホームページ上にて公表しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		半年に一度、保護者様との面談を行っています。その内容と、指導員から聞き取った支援中の様子を合わせ、計画を作成しています。	利用者に対して直接ニーズを聞き取る機会を設け、利用者にとってより良い支援が提供できるようにしていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画を作成した際には、必ず職員全員が内容を確認し、意見を出し合うようにしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		毎回の支援時には担当者が計画を確認し、その内容に合わせた支援プログラムを作成するようにしています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		独自の指標をもとに、インフォーマルなアセスメントを半年ごとに行っています。また、病院などで取ったフォーマルなアセスメントの結果を保護者様からお借りし、参考にしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		地域支援・地域連携については保護者様からの希望に合わせて行っています。		

支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		同じ職員ばかりが担当にならないよう考慮しながら、支援の担当者を決めています。また、毎日の終礼にてその日の支援の様子を共有するようにしています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎回の支援記録にその日取り組んだ内容を残し、次回の担当者に引き継ぐようにしています。また、声掛けを工夫したり見本を見せたりすることで、新しいプログラムにも参加してもらえるようにしています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	基本的に1対1での個別支援を中心にしています。そのため、職員とのやり取りを通してSSTを行うよう計画を立て、支援を行っています。	個別支援を中心としながらも、職員が複数参加するなどして集団に少しでも近い状況で支援が行えるようにしていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼時に打ち合わせを行い、その日の支援内容や注意事項について共有しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼にてその日の支援内容の共有を行っています。事故やヒヤリハットについても共有するようしています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		アプリを活用し、支援後の記録をどの職員でも確認できるよう工夫しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に一度、保護者様との面談を行っています。その内容と、指導員から聞き取った支援中の様子を合わせ、計画を作成しています。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		職員から事前に意見を集め、その上で参加するようしています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		保護者様の要望に合わせ、担当者会議への参加や幼稚園への訪問など積極的な連携を行っています。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		保護者様の要望に合わせ、情報共有を行うようにしていきます。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		保護者様の要望に合わせ、情報共有を行うようにしていきます。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				保護者様の要望に合わせ、相談の機会を設けるようにしていきます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		保護者様の要望に合わせ、検討していきます。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		支援終了後にお子様の様子を口頭にてお伝えし、保護者様から最近の様子を伺っています。また、支援内容はアプリにて送信し、後日確認していただけるようにしています。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		定期的にイベントや講演会を実施し、保護者様に研修の機会を提供しています。また、保護者様から希望があった場合には、支援の様子を共有しながら説明や家庭でのアドバイスを行っています。	保護者会の実施時、ペアレントトレーニング等の家族支援プログラムを意識した内容作りを検討していきます。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		体験時、契約時に丁寧な説明を心がけています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		半年に一度モニタリングを行い、保護者様の意向やニーズを確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		モニタリングでお聞きした要望と目標の関連性をお伝えしながら、丁寧な説明を心がけています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		半年に一度モニタリングを行っています。また、保護者の希望に合わせてモニター等で支援の様子を共有したり、保護者様との面談を行ったりしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		月に1度定休日を設け、保護者会を定期的に実施でいるようにしています。また、保護者会内に座談会の時間を設け、交流機会の提供を行っています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談の都度、速やかにお話を伺えるようにしています。	対応体制が整備されていることを周知し、より相談しやすい関係づくりに努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者にに対して発信しているか。	5		インスタグラムを利用して、日ごろの様子などを発信しています。また、LINEを用いて連絡事項をお伝えできるようにしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		SNSへの投稿については、事前に書面にて許可を取り、顔を隠した画像を使用しています。また、書類等は鍵付き書庫に保管するなど、プライバシーマークの規定に沿って、厳重に管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子様の発達に合わせ、見通しカードなどの視覚的支援を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	子ども会が主催する夏祭りに参加するなど、地域とのつながりを意識しています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを玄関に設置し、いつでも見てもらえるようにしてあります。また、作成した年間計画に合わせて訓練を定期的に行っています。	アプリでマニュアルを確認できるようにするなど、周知の方法を検討していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCP訓練を年に1度行い、その際に出た意見をもとに計画の見直しを行っています。	
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントの際に確認するようにしています。対応が必要な利用者についてはマニュアルを事務室に掲示し、周知を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	-	-		食事の提供はありませんが、必要に応じて実践しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		毎年4月に安全計画を作成し、それに合わせて定期的な研修、訓練を行っています。また、常に利用者の安全が確保できるよう、終礼にて事故やヒヤリハットの共有を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画を玄関に設置し、常に確認してもらうことができるようになっています。	安全計画を設置するだけでなく、直接口頭にて伝えたり、アプリを利用したりすることさらに周知を進めていくようにします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎日の終時時にヒヤリハットを共有しています。また、書面も作成し、振り返りが行いやすいようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		入社時には必ず研修を行い、年に1度社内研修も行っています。また、地域が主催する研修会にも積極的に参加しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束の可能性がある利用者については、個別支援計画にその旨を記載し、保護者に十分に説明を行った上で同意を得ています。	